

品川区議会だより



第302号

令和5年(2023年)11月21日発行

発行／品川区議会 〒140-8715 東京都品川区広町二丁目1番36号

電話 03-5742-6810(直通) Fax 03-5742-6895

品川区議会ホームページ <https://gikai.city.shinagawa.tokyo.jp/>



蛇窪神社(二葉四丁目4番)

令和5年第3回定例会

- 品川区のこのようなことが決まりました 2～3
- 議案・決算の議決結果 4
- 請願・陳情の審査結果 5
- 意見書を提出しました 6
- 区政をきく(一般質問) 7～13
- 本会議・委員会の日程(予定) 13
- お金の使いみちを審査しました(決算審査のあらまし) 14～15
- 決算に対する各会派の意見表明 16～17
- 常任委員会の活動・特別委員会の活動 18～19
- 議会報告会を開催します 20

表紙の写真について

(こばやしあんり様 撮影)

表紙に掲載の写真は、ご応募いただいた中から選ばれました。

品川区議会では、引き続き品川区議会だよりの表紙等に掲載する写真を募集しています。

詳しくは、品川区議会ホームページをご覧ください。事務局調査係までお問合せください。

写真の掲載については確認済ですが、無断転載・転用は固くお断りします。
ユニバーサルデザインに配慮した書体・配色を使用しています。



伊藤幼稚園が令和7年3月末に閉園します

第68号議案 品川区立幼稚園条例の一部を改正する条例

施設の老朽化が進んでいる伊藤幼稚園は、令和7年3月31日をもって閉園することとなりました。これに伴い、条例の規定を整備します。

委員会での質問

Q 今回の条例改正を審議した教育委員会の開催日について

A 令和5年8月22日開催の教育委員会にて、本条例改正の審議を行った



いじめ相談受付体制整備などのための補正予算を可決しました

第65号議案 令和5年度品川区一般会計補正予算

補正額は、歳入歳出とも8,932万4千円を追加し、総額を2,019億9,650万4千円とするものです。主な事業を紹介します。

1. おくやみコーナーを設置し、ご遺族の負担軽減を図ります

【補正額】244万8千円

ご家族等が亡くなられた際の多岐にわたる行政手続きについて、ご遺族等の負担軽減を図るため、区役所内の手続きを一か所ですべて行うことができる専門窓口「おくやみコーナー」を設置します。概要は下記のとおりです。

1. 事業開始 令和6年1月4日
2. 対象となる方 亡くなられた区民のご遺族等（死亡後の手続きを執り行う方）
3. 設置場所 区役所第二庁舎3階ロビー
4. 開設時間 平日 月曜日～金曜日 午前9時～午後5時
5. 申込方法 品川区電子申請システムまたは電話にて予約（1日最大4組）

※「おくやみコーナー」は予約制です。予約受付時に、相談内容や故人様の情報をお伺いし、必要な手続きの確認および事前準備をします。来庁時に、必要な手続きの申請書の作成の支援や各種ご相談の受付を行い、必要に応じて相談機関のご紹介などのサポートも行います。

※上記については、広報しながわ（12月11日号）にもお知らせを掲載予定です。



2. いじめ早期発見・早期解決の体制を強化します

【補正額】475万円

いじめ相談窓口を新たに区長部局にも設置し、相談しやすい環境を整備します。運用開始は令和6年1月4日からです。学校、教育委員会その他関係機関と連携し、弁護士による第三者的視点も踏まえながら、いじめの早期発見・早期解決に向けた機動的な対応を図ります。

※上記については、令和6年1月4日以降に、各区立学校の児童・生徒に配布するチラシや区ホームページ・SNSでお知らせするほか、広報しながわ（令和6年1月11日号）にも掲載予定です。



議案等審議

－ 令和5年第3回定例会 －

品川区のこのようなことが決まりました

会期34日間：令和5年9月21日～10月24日

今回審議した議案等は

区長提出議案…… 11件 議員提出議案…… 2件
各会計決算……… 5件 請願・陳情……… 16件
計34件

※ 上記のうち、主な議案を以下のとおりご紹介します。

西五反田公園を改修します

第69号議案 西五反田公園改修工事請負契約

西五反田公園の施設の老朽化が進んでいることから、遊具等の改修、便所の改築および水飲み等のバリアフリー化工事を行います。

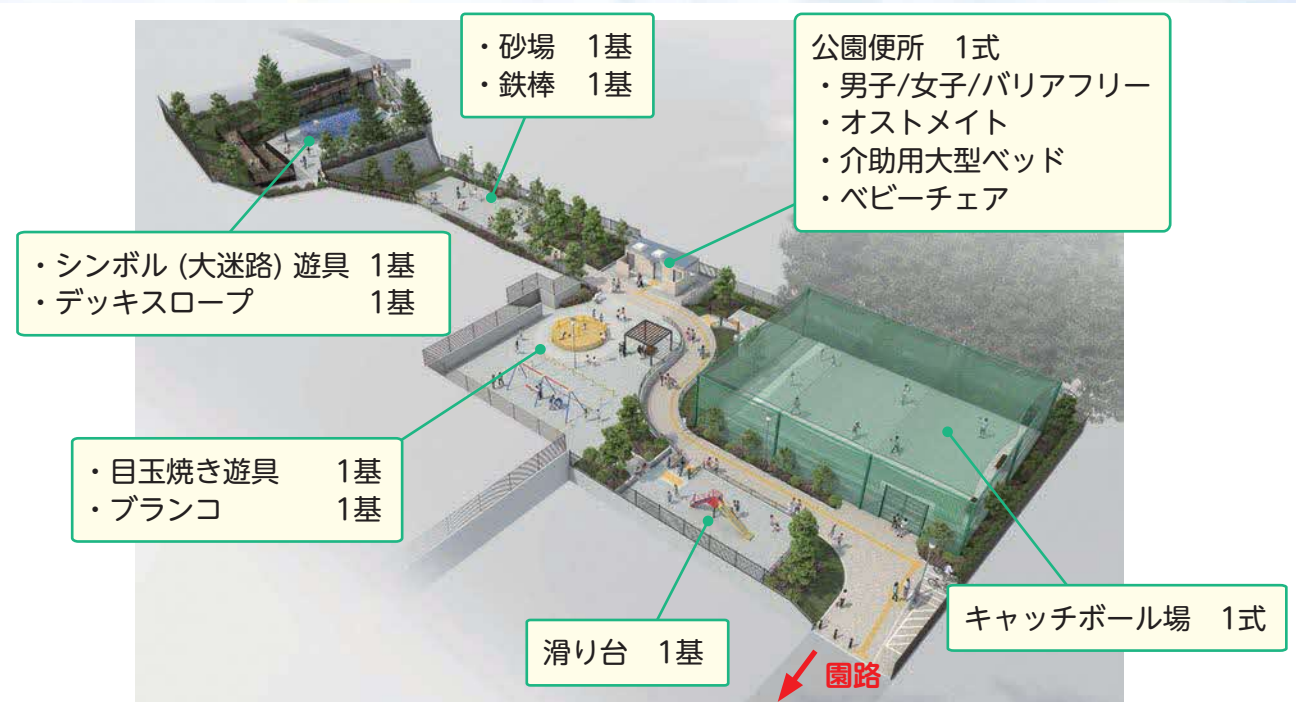
場 所

西五反田5-6-4

スケジュール（予定）

工事着手：令和5年10月25日

工事竣工：令和7年2月28日



請願・陳情の審査結果

付託委員会	請願・陳情件名	受理番号	結 果
総務委員会	品川区に導入予定の事務事業評価のあり方に関する請願	令和5年請願第10号	不採択
	固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続について意見書の提出に関する請願	令和5年請願第11号	採択
	固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続について意見書の提出に関する請願	令和5年請願第14号	採択
	政党機関紙の庁舎内勧誘活動の自粛を求める陳情	令和5年陳情第28号	不採択
区民委員会	行政が運営主体となる新規火葬場建設を求める陳情	令和5年陳情第31号	継続審査
	適格請求書等保存方式（インボイス制度）で新たな負担を受ける事業者に対して区独自の支援策を求める陳情	令和5年陳情第35号	不採択
厚生委員会	健康保険証の存続を求める請願	令和5年請願第12号	不採択
	「健康保険証の廃止を延期し、今の健康保険証の存続を求める意見書」の提出を求める請願	令和5年請願第13号	不採択
	利用できない区民のために、障害者施設の迅速な整備を求める陳情	令和5年陳情第23号	不採択
	福祉避難所となる心身障害者福祉会館の安全で快適な整備を求める陳情	令和5年陳情第30号	不採択
建設委員会	羽田新ルート飛行経路の即刻中止を求める陳情	令和5年陳情第20号	継続審査
	森澤恭子区長との面談と C 地区の視察を求める陳情	令和5年陳情第24号	不採択
	羽田新ルート反対に関する陳情	令和5年陳情第29号	継続審査
	森澤恭子区長が羽田空港機能強化による都心飛行ルートについて、「固定回避を国に要請」としたことの撤回を求める陳情	令和5年陳情第34号	継続審査
	小山三丁目第一・第二地区再開発に関する陳情	令和5年陳情第36号	不採択
行財政改革特別委員会	広町地区土地区画整理事業に係る土地の処分等について説明するよう求める陳情	令和5年陳情第25号	不採択

採 択：区議会として、ご希望に賛同します。
趣旨採択：区議会として、ご希望の趣旨に賛同します。
不 採 択：区議会として、ご希望に賛同しかねます。
継続審査：区議会として、引き続き慎重に審査します。

請願・陳情についての議事内容等が掲載された各付託委員会の会議録は、こちらのQRコードからご覧になれます→



請願・陳情とは

区議会では、区政についての皆様のご要望やご意見を、請願や陳情としてお受けしています。本会議で採択した請願や陳情は、区長や教育委員会などの執行機関に送り、その実現に努力するよう求めます。

議案・決算の議決結果

全会一致で可決または認定したもの

議案番号	件 名
66	生活衛生関係営業等の事業活動の継続に資する環境の整備を図るための旅館業法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例
67	品川区立学校の学校医、学校歯科医および学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例
69	西五反田公園改修工事請負契約（2 ページに説明を掲載）
72	指定管理者の指定について（北品川高齢者多世代交流支援施設）
74	教育委員会委員の任命同意について（稲垣 百合恵 氏）
75	品川区長等の退職手当に関する条例の一部を改正する条例
令和 4 年度品川区災害復旧特別会計歳入歳出決算	
議員提出 3	固定資産税・都市計画税の軽減措置の継続を求める意見書（6 ページに意見書を掲載）

意見の分かれたもの

議案番号	件 名	結果	自 (9)	民 (7)	公 明 (6)	未 来 (5)	共 産 (3)	品 改 (2)	維 新 (1)	無所属議員 (50音順)						
										(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)
65	令和 5 年度品川区一般会計補正予算 (3 ページに説明を掲載)	可決	※1 ○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
68	品川区立幼稚園条例の一部を改正する条例 (3 ページに説明を記載)	可決	※1 ○	○	○	×	○	○	○	○	○	※2	○	×	○	○
70	スタッキングチェア他の買入れについて	可決	※1 ○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
71	指定管理者の指定について (東大井地域密着型多機能ホーム)	可決	※1 ○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
73	副区長の選任同意について (新井 康 氏)	可決	※3 ○	○	○	※3 ○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
令和 4 年度品川区一般会計歳入歳出決算		認定	※1 ○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和 4 年度品川区国民健康保険事業会計歳入歳出決算		認定	※1 ○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和 4 年度品川区後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算		認定	※1 ○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和 4 年度品川区介護保険特別会計歳入歳出決算		認定	※1 ○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出 4	健康保険証の廃止を延期し、今の健康保険証の存続を求める意見書	否決	※1 ×	×	○	○	○	×	×	×	○	×	×	○	○	×

○…賛成 ×…反対 (数字) は所属議員数 無所属議員は左から氏名の50音順で表記しています。
※ 1 …自民のうち 1 名は議長の職務を行ったため、議決には加わりませんでした。
※ 2 …退席のため、議決には加わりませんでした。
※ 3 …自民のうち 1 名は議長の職務を行ったため、1 名は欠席のため、また共産のうちの 1 名は欠席のためそれぞれ議決には加わりませんでした。

●会派名は次の略語で記載しています。
自民……品川区議会自民党・無所属の会 公明……品川区議会公明党 未来……しながわ未来（無所属・立憲・ネット）
共産……日本共産党品川区議団 品改……品川改革連合 維新……品川区議会日本維新の会

各議員の賛否はこちらの QR コードからご覧になれます→



区政をきく (一般質問)

一般質問とは議員が、区の行政全般にわたり、
区長をはじめとする執行機関に対して行う質問です。
令和 5 年第 3 回定例会では、区政全般について、
11 名の議員が一般質問を行いました。
以下、概要をお知らせします。

一 般 質 問

田中 たいし	せらく 真央	のだて 稔史	筒井 ようすけ	新妻 さえ子	まつざわ 和昌	9月22日(金)	横山 由香理	高橋 伸明	安藤 たい作	大倉 たかひろ	ゆきた 政春	9月21日(木)
議員(無所属)	議員(維新)	議員(共産)	議員(品改)	議員(公明)	議員(自民)		議員(無所属)	議員(自民)	議員(共産)	議員(未来)	議員(公明)	

会派名は次の略語で記載しています。

自 民…品川区議会自民党・無所属の会	公 明…品川区議会公明党
未 来…しながわ未来(無所属・立憲・ネット)	共 産…日本共産党品川区議団
品 改…品川改革連合	維 新…品川区議会日本維新の会

下記のとおり、東京都知事あてに意見書を提出しました

【議員提出第 3 号議案】

固定資産税・都市計画税の軽減措置の継続を求める意見書

数年にわたる新型コロナウイルス感染症の影響や物価の高騰により、小規模事業者の経営環境は厳しさを増しており、今後もこの状況が続いていくことが見込まれる。

このような状況の中で、東京都が実施している「小規模住宅用地に対する都市計画税の軽減措置」「小規模非住宅用地に対する固定資産税・都市計画税の減免措置」及び「商業地等における固定資産税・都市計画税について、負担水準の上限を65%に引き下げる減額措置」は、厳しい経営環境下に置かれている小規模事業者にとっても、事業の継続や経営の健全化への大きな支えとなっている。

東京都がこれらの軽減措置を廃止すれば、小規模事業者の経営や生活は更に厳しいものになり、ひいては地域経済の活性化のみならず、日本経済の回復にも大きな影響を及ぼすことになりかねない。

よって、品川区議会は東京都に対し、下記の事項を令和6年度以降も継続するよう強く要望するものである。

記

- 1 小規模住宅用地に対する都市計画税を2分の1とする軽減措置を令和6年度以降も継続すること
- 2 小規模非住宅用地に対する固定資産税及び都市計画税を2割減額する減免措置を令和6年度以降も継続すること
- 3 商業地等における固定資産税及び都市計画税について、負担水準の上限を65%に引き下げる減額措置を令和6年度以降も継続すること

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

令和 5 年 10 月 24 日

品川区議会議員 渡辺 ゆういち

次回の区議会だよりは新聞折り込みでお届けします

1 月 1 日発行の区議会だよりは、例年新聞折り込みでお届けしています。

また、令和 6 年 1 月 4 日から 11 日までは品川区内の駅の広報スタンドにも置いてありますのでご利用ください。

なお、区議会だよりは区議会ホームページからもご覧いただけます。

区議会だよりに掲載する写真を募集しています

品川区議会では、「区議会だよりについて、より多くの方にご興味を持っていただきたい」との思いから、表紙写真を募集し、ご応募いただいた中から選ばれた 1 枚を表紙に掲載しています。ご応募いただいた皆様、素晴らしいお写真をありがとうございました。

引き続き、区議会だよりに掲載する写真の募集を行いますので、ぜひご応募ください。

【応募資格】 区内在住・在勤・在学の方 【募集作品】 品川区内で撮影したデジタル写真

品川区の魅力を PR できるような写真をお待ちしております。

※応募規定など、詳細は区議会ホームページでのご案内をご覧ください。

【問い合わせ先】 調査係 電話：03-5742-6810 Fax：03-5742-6895



一般質問

ゆきた 政春 議員
(公明)



火災被災者への支援について

問 火災による被災者の住まいについて、従前居住用住宅を中長期的に、寝具や電化製品等の日常生活用品の準備を行った上で、提供しては。条例に基づき使用料の減免措置が可能である。災害時の入居期間を数か月程度に延長することを検討する。電化製品等の常設については、今後の研究課題とする。

答 火災廃棄物処理の支援拡充を。

問 被災状況なども考慮し、減免措置と併せた支援について研究する。

答 災害見舞金の支給対象拡大を。

問 今般の要綱見直しにおいて、特に必要とする程度の住宅の被害があったと認めるものという要件を支給基準に追加規定した。

AEDについて

問 コンビニエンスストアへの設置を。

答

今年度コンビニ二事業者との設置の協議を始めたところであり、設置拡大に取り組む。

問 AEDケースに三角巾の配備を。

答 適切な管理等を含め研究していく。

オンライン診療について

問 災害時の実施に向け、区の考えは。

答 オンライン等の活用は、医療救護所間の連絡調整等に有効と考える。その手法について研究する。

障がい者の外出等の支援について

問 福祉タクシー利用券と自動車燃料費助成券を同額とすることと併用等について求める。

答 利用者の意見や他区の状況、ガソリン価格の状況等も見ながら検討。

問 福祉タクシー利用券の利便性について、交通系ICカード等での交付を要望するが、区の所見は。

答 今後の検討課題とする。

西大井地域のコミュニティバス・しなバスについて

問 西大井本通り循環ルートの進捗は。

答 すれ違い時の安全確保等について関係機関と協議しており、車両幅の狭いEVバスの導入も検討。

問 今後の取組について、区の見解は。

答 今後の取組について、区の見解は。スマートフォンを活用した回数券の導入や、妊婦、未就学児の同乗者運賃の割引など検討している。

一般質問

安藤 たい作 議員
(共産)



いじめや不登校の解決のためにも、全ての子どもが学びに希望を持てる学校をつくる。

問 いじめ問題調査委員会の報告書の厳しい指摘をどのように受け止め、どのように改善していくのか。

答 指摘事項を真摯に受け止め、認識を改めるとともに、いじめの未然防止・早期発見・早期解決に向け全力で対応を進めていく。

問 不登校の子どもが急増しているが、その子の学び権利を保障することは重要な課題である。不登校児に目を向けられる専任教員の配置を。

答 教員の定数があるため、不登校支援に特化した正規教員の配置は困難だが、国や都の施策を活用し支援員等の充実に努めている。

羽田新ルートは今すぐ撤回し、海上ルートに戻せ アンケートに寄

せられた被害の実態は全て公開を

問 区民アンケートの結果は自由記述欄も含め全て公開すること、ルート直下等の実態が分かるよう町域ごとのクロス集計の発表を求める。

答 自由意見は、公表の在り方を検討する。集計は、町名等の属性とのクロス集計等を行い公表予定だ。

問 1981年に滑走路の移転を実現させた実績に学ぶべきでは。

答 当時は埋立地に滑走路を移転する選択肢があり、それに対して区が働きかけを行った。今回の羽田新飛行ルートは唯一の方法として採用したと国から説明があった。

問 庁舎跡地は区民の財産 開発企業の利益のためでなく、特養・障害者施設など区民のために活用を

答 しながわ中央公園を庁舎跡地等活用を検討地域に含めることが、8月の行財政改革特別委員会です突然報告された。今のまま存続すべき。

問 廃止を前提とするのではなく、区民ニーズを把握した上で必要な機能は生かしつつ、庁舎周辺の一体的なまちづくりを検討していく。

答 (その他の質問)
・大崎西口駅前地区開発 全ての権利者・住民を追い出し超高層オフィスビルにする再開発は止めよ

一般質問

大倉 たかひろ 議員
(未来)



新技術の活用について

問 文章や画像を生成するAIやインドアビューなど多くの技術が生まれている。最先端技術を利用することで区民生活の質を向上することや区役所業務の効率化などメリットがあると考ええる。今後の新技術の活用促進の検討について伺う。

答 あらゆる行政領域にAIなどの先進技術を活用し、区民の利便性の向上と業務の効率化を図っていくことは重要であると認識している。インドアビューを含め先進的なデジタル技術の活用について広く検討していく。

防災について

問 障がい者の方が防災訓練に参加することで発災時の適切な対応や健康者もその対応について学ぶことができるかと考える。コロナ禍での

感染症対策やペットの同行避難の検討など現在の避難所運営について検証し最適化していく必要があると考えるが検討について伺う。

答 障がい者の訓練参加については今後幅広く障がい者団体にも訓練に参加していただけるよう、訓練要領を検討していく。避難所運営マニュアル標準版の改定を行う。ペット同行支援などの課題についても併せて検討し、各避難所運営マニュアルに反映していく。

教育について

問 今後文章・画像生成AIが普及していくことが考えられる。早い段階で教員や子どもたちに対して生成AIに関する教育を行う必要があると考える。教職員が生成AIの活用に向けて、メリット・デメリットも含め、研修等を実施し、子ども達へも指導できるよう取り組んでいただきたい。

答 情報モラル教育も含めて指導の充実に努める。また、ICT活用研修の中に生成AIの内容を取り入れ、教職員のAIリテラシーの向上を図るとともに、指導力の向上や働き方改革にもつなげていく。(その他の質問)
・在宅医療について

一般質問

高橋 伸明 議員
(自民)



物価高騰対策について

問 区民が直面する物価高騰の状況を考慮すると更なるてこ入れが必要。追加対策について、見解は。

答 今後もしばらくは物価高騰の影響が続くと見込まれることから、支援策について検討を行っていく。

問 区で予算措置をする以上、区内でお金が循環し、使った分も使ってもらった事業者も満足し結果として地域が潤う仕組みがあれば、さらによいのではないか。地域でのお金の循環を重視した対策を積極的に講じていくつもりはあるのか。

答 区民が地元商店街で使える、プレミアム率10%の区内共通商品券を10月に販売する。

問 年金額の改定が物価高騰のスピードに追いついているとは言い難い。高齢者へのきめ細やかな対策を。

国での追加経済対策検討の動向を注視し、支援策を検討していく。

問 都市計画道路の買収地活用について

答 工事着手が一定期間見込めない買収地の活用について、都の理解を得た上でマーケットサウンディングを実施し、民間事業者からの提案を募集することについて見解は。

問 都が管理する道路建設用地のため実施には課題があると認識しているが、他自治体の事例を研究する。

地域交通について

問 しなバスの現時点での利用状況と、それを踏まえた評価は。

答 1か月平均約1万6千500人の乗車利用であり、昨年実施した利用者アンケートでは回答した75%の利用者が満足しているとするなど、地域の身近な移動手段として一定の評価は得ているという認識だ。

障害者関連施策について

問 心身障害者福祉会館は、老朽化が進んでおり、今後計画的に整備を進めていきたいと思います。その課題と見直しについて、見解は。

答 荏原地区の拠点として機能強化を図る必要があると考える。あわせて築46年が経過していることもあり、改築を視野に検討していく。

一般質問

横山 由香理 議員
(無所属)

文化芸術の振興について

物質的な豊かさや心の豊かさについて、区の考えは。

個人の感性や価値観は様々であり、満足度・幸福度はそれぞれに異なるものと認識している。

区立児童相談所について

児童相談所とは、どのような子どもたちのための場所か。

社会の変化に応じて、非行児や障害児、被虐待児等の対応を行っている。今後も価値観等は多様化が予想されるが、未来を担う子どもたちが安心して生活できるよう、積極的に取り組んでいく。

区立の児童相談所になると何が変わるのか。

都から事業移管後、管轄区域が限られるため、機動力が高まる。独自に意思決定が可能となり、虐待

対応の迅速性が向上する。こどもまんなかの地域社会に取り組み。

子ども・若者・家庭の支援について

各関係機関の連携の現状と見解は。

子ども家庭支援センターが調整機関となり、日頃から顔の見える関係づくりを行っている。今後も、よりよい連携の形を目指していく。病児保育の在り方と費用負担についての現状と今後の見通し及びニーズの実態は。

医療の専門家が預かるため、安心して子育てができる環境を整備している。1日当たりの区民利用料金は二千円。育児不安を抱える保護者を医療面から支える大切な事業の1つ。ニーズに関しては、子ども・子育て支援事業計画などの調査や区へのご意見を的確に捉え、今後の計画に反映していく。

危機管理について

熱中症対策の具体的な施策を推進し、緊急時の体制整備を。

熱中症警戒アラート発令に際し、ホームページなどで速やかにお知らせするほか、区内59か所の施設に避暑シェルターを開設中。国や都と連携し、引き続き体制整備を検討していく。

一般質問

新妻 さえ子 議員
(公明)

人生100年時代を支える高齢者支援について

若年層や物忘れの訴えない方が受けられる認知機能チェック「あたまの元気度チェック」の本格的導入を求める。

今後の導入については、医師会や医療機関と協議の上、検討する。民生委員の負担軽減のため、「支援愛・ほっとステーション」のさらなる周知を求める。

社会福祉協議会とも連携し、広報紙やSNSの活用など、さらなる周知に努める。

居住支援について

住宅確保要配慮者入居促進事業について、不動産屋で相談する区民もいることから、区民が住宅あつせん事業の協力店であることが分かるよう、ポスターなどの掲示と

説明用のチラシを置くよう求める。

区民が住宅のあつせん事業の協力店であることが分かるように、店頭に掲示してもらうためのステッカータイプものを検討中。

女性の健康を守る施策について

更年期についての情報発信として、区のホームページに女性の健康のコンテンツを設け、内容を充実させてはと提案。また、しながわ健康プラン21中間・評価見直しは、更年期障害について明記した上で施策展開を要望。

区ホームページの内容について充実をしていくとともに、健康プラン21の次期改定の際、更年期に関する情報提供や仕事との両立支援などについて、策定委員会の中で議論する。

骨粗鬆症検診について、品川区での早期実施を要望。

実施に向けて協議を進めていく。

おくやみコーナー開設について

設置予定のおくやみコーナーはどのような対応となるのか伺う。令和6年1月のサービス開始に向けて準備を進めており、窓口ではお客様が移動することなく手続が完了するワンストップサービスを提供する。

一般質問

まづざわ 和昌 議員
(自民)

ふるさと納税について

鉄道イベントを企画商品型返礼品という形で開催しては。また、ふるさと納税に特化した組織をつくり本気の改革をするべきでは。

今後も地域の魅力を生かした特別な体験ができる返礼品の拡充を図る。執行体制についても検討する。

地区祭りについて

課題に対応しながら実施できるよう補助金を増額するべきでは。

円滑に実施できるよう支援策の拡充を検討する。

子どもの看護休暇について

小学校3年生までではなく、少なくとも小学校卒業まで看護休暇が取得できる制度にするべきでは。

来年度から実施する方向で検討している。また、小学校入学前までの子を養育する為の部分休業を小

一般質問

筒井 よつすけ 議員
(品改)

事務事業評価とムダ削減について

事務事業評価は議会と区民にどのように公開予定か。

行政評価シートを決算特別委員会に資料として提出予定。また、区民には行政評価シートを区ホームページにPDFで公表予定。なお、行政評価の公表は、評価確定後1年1回行う予定である。

毎年1%の無駄削減、約20億円の財源捻出という区長公約を区の公的な文書に記載して公表すべき。

今後、時期や手法を検討していき、公的な文書に書くということに関して検討する。

新区庁舎建設費200億円削減とDX化について

区長は公約で官民連携手法の導入で区役所建て替え費用の区民負担を事実200億円軽減するとあるが、

学校入学後も取得できるよう特別区長会に提案することを検討する。

防災について

タンDEM自転車解禁により自転車活用推進計画の中に活用を入れるべきでは。

障害のある方の移動手段の1つとして、自転車活用推進計画の中で利用について明記する。

都の感震ブレイカー無料配布終了後の区の取組を考えるべきでは。

不燃化特区内の設置率は今年度中に目標を達成する見込みで今後も設置拡大にむけ取組を検討する。

教育・子ども達について

学習指導要領におけるプール授業の位置づけは？必要性を考える検討委員会を立ち上げるべきでは。

学習指導要領の体育において水泳はおおむね10時間程度だ。改築に併せて総合的な議論を行っている。

全児童対象の食物アレルギー検査を教育委員会で行うべきでは。

各家庭の判断で実施することが適切である。

子ども版「区民の声」の設置を。

子どもに関わる施策を推進するに当たっては、当事者の意見が大切であるという認識のもと意見聴取の手法等を具体的に検討する。

この目標は維持されているのか。

区としても、これを指標として、庁舎跡地等活用検討委員会や対話型市場調査を行いながら、官民連携手法の検討を段階的に進め、精査していく予定である。

Chat GPTの活用予定は。

補正予算に導入運用経費を計上しており、今後活用していく。

ナイトタイムエコノミーの推進について

夜の時間帯を有効活用するナイトタイムエコノミーの推進をすべき。

都市型観光を考える際の重要なファクターとして検討していく。

子育て支援と高齢者福祉について

都民ファーストの会が提案し実現した、018サポートの周知状況は。

戸籍住民課や各地域センター、子育て応援課にて申請ガイドの配布をはじめ、ホームページ等での周知を行っている。

施設増設の代わりに、どのように在宅支援を充実させていくのか。

20か所の在宅介護支援センターを中心に高齢者の相談から適切な支援へつなげており、今後も、必要なサービス量や地域バランスを考慮しながら、サービス提供体制の確保に努める。

一般質問

のだて 稔 史 議員
(共産)

核抑止論から脱却し、税金は軍事費拡大ではなく暮らしに使え
インボイスは中止を

問 核抑止論から脱却しなければ、「非核平和都市品川宣言」にある核兵器廃絶と恒久平和確立は実現できないと思うが、見解を。

答 宣言に込められた思いを区民へ着実に伝え、核兵器廃絶等に向けた取組を継続して実施している。

問 消費税減税と、さらなる増税で自殺者を生み出しかねないインボイスの中止を、国に求めるべき。

答 消費税率およびインボイス制度は、国において議論されるべきもの。中止を求める考えはない。

問 気候危機打開へ、区として再エネと省エネに本気の取り組みを

答 どんな取組でどれだけCO₂を削減するのか、年度ごとの目標を立て、

毎年検証するべきでは。

答 品川区環境基本計画に基づき、2050年度実質ゼロカーボン等の目標に向け取り組んでいく。

問 区有施設に、太陽光発電をいつまでに設置するという計画をつくり、積極的に設置すべきだ。

答 場所の確保等の課題があるが、計画的な設置に向け検討していく。

問 断熱化した区立学校の割合は。計画的に学校の断熱化を進めていくべきだと考えるが、いかがか。

答 現在、46校中20校で実施済み。改築工事に併せて各学校の断熱化、省エネ化を進めていく。

問 戸越公園駅周辺は企業のもつけのためでなく住民のためのまちづくりを

答 豊かな緑と憩いの場を守るために、文庫の森にPark+PFIを導入しないよう求める。

問 本制度は、民間活力の導入により、公園が活性化することで魅力が向上することを目的としている。

答 意見は跡地活用方針策定委員会に報告し、活用方針の素案策定に係る議論の参考としている。

問 旺原四中跡地検討のワークショップの意見は、活用方針にどのように反映されるのか。

答 意見は跡地活用方針策定委員会に報告し、活用方針の素案策定に係る議論の参考としている。

問 ふるさと納税について

答 ふるさと納税の所管が現在税務課となっているが、少しでも減収を抑える考えがあるならば、企画部門へ移すべきだ。

問 国に対し、ふるさと納税の抜本的な見直しを求める考えは変わらないが、ふるさと納税に起因する税収減への対応に向け、執行体制について検討していく。

答 国に対し、ふるさと納税の抜本的な見直しを求める考えは変わらないが、ふるさと納税に起因する税収減への対応に向け、執行体制について検討していく。

問 清掃事業について

答 連日猛暑日が続く、炎天下での収集作業は大変過酷な作業である。清掃職員の方々の暑さ対策は、今年度試験的に数種類の空調服を導入するなど、検討している。

問 選挙制度について

答 課題の残る現在の選挙制度を改善するため、自ら再選挙を体験された区長が国に対し発信すべきだ。再選挙は首長の不在期間の長期化による行政運営への影響などに大きな課題があるため、国において検討されるべきものと考えている。

問 (その他の質問)

・国による不合理な税制について
・広町地区の街づくり、新庁舎建設について
・シティブロモーションについて

一般質問

せらく 真 央 議員
(維新)

いじめや不登校など学びの場での困難について

問 学校、教育委員会から独立した、いじめ解決に向かう権限を持つ組織を設立することは非常に重要だと認識している。具体的な組織の体制、必要な人材の確保、設立時期などについて、今後の計画を。

答 令和6年1月に区長部局にいじめ相談窓口を設置し、ソーシャルワーカー3名および弁護士のいじめ相談専門員1名による相談対応や支援を行う。また、いじめ専用のポータルサイトを立ち上げ、相談受付や防止啓発を行い、いじめの早期発見・解決に取り組んでいく。

問 マイスクールの利用状況と不登校児童・生徒の増加傾向について、区としての見解を。

答 令和4年度のマイスクール通室者

問 男女共同参画を支える健康づくり

答 品川区は、管理的地位および係長級における女性職員の割合が、東京23区と比較して上位に位置していることが示された。この要因は、以前から職員報などで女性管理職等の紹介をし、ロールモデルを提示することで機運醸成を図ってきた。こうした地道な取組が結果につながっていると分析している。

は、児童が33名、生徒が66名である。人数としては低学年も含め増加傾向にあるため、対策の強化が必要であると考えている。

GIGAスクールへの品川区の取り組み

問 学校でA-Iリテラシーを学ぶ時間を設ける予定はあるのか。

答 今後、市民科の情報教育の中で学ぶ場面を取り入れていく。

働きながら安心して子育てができる環境について

問 今年度の夏休みに行われた、仕出し弁当提供の1校での試験的な実施で、発生した意見や課題は。

答 利用者の声としては、お弁当を作る手間が省けるなどの肯定的な意見があり、一方で運営面では、弁当の受け取りや片づけの際の人員が不足するなどの課題があった。

問 品川区は、管理的地位および係長級における女性職員の割合が、東京23区と比較して上位に位置していることが示された。この要因は、以前から職員報などで女性管理職等の紹介をし、ロールモデルを提示することで機運醸成を図ってきた。こうした地道な取組が結果につながっていると分析している。

ケーブルテレビ
放送予定

本会議の一般質問の様子は、ケーブルテレビ品川の「品川区民チャンネル」で放送予定です。
放送予定日は以下のとおりです。

○放送予定日
・本会議（一般質問）
11月27日(月)～12月1日(金)
(再放送)
12月2日(土)・12月3日(日)



本会議・委員会の日程 (予定)

令和5年第4回定例会本会議は11月22日から12月6日までの15日間の会期で開催される予定です。

会議名		開催日時
本会議	総務	11月22日(水)午後1時
	区民	11月24日(金)午前10時
	厚生	12月6日(水)午後1時
	建設	11月27日(月)午前10時
	文教	11月28日(火)午前10時
議会運営委員会		11月21日(火)午前10時30分 12月5日(火)午前10時30分
特別委員会	行財政改革	11月29日(水)午前10時
	災害・環境対策	11月30日(木)午前10時

*本会議は区議会ホームページでインターネット生中継をしています。
また、本会議終了後おおむね1週間後に、インターネット録画中継でご覧いただけます。

インターネット中継で 総括質疑がご覧になれます

予算・決算特別委員会の総括質疑の様子は、区議会ホームページから録画中継でご覧になれます。視聴方法は以下のとおりです。

(以下の画面はパソコンの例です)

- ①区議会ホームページ左下の「インターネット中継」をクリックします。



区議会ホームページトップ画面 (パソコン)

- ②会議名や議員名などから動画を選択します。



インターネット中継トップ画面 (パソコン)



(例)「会議名で探す」の場合



動画の
再生ボタンを
クリック

決算特別委員会

決算特別委員会は10月2日から19日のうちの計7日間にわたり令和4年度決算の審査を行いました。最終日の10月19日には、令和4年度決算について、各会派を代表して10人の委員が各会計歳入歳出歳出決算の全般にわたり総括質疑を行いました。

その後、各会派より意見表明を行い、採決をしました。(各会派の意見表明は16～17ページに掲載)

総括質疑における質問の要旨は、以下のとおりです。

〈総括質疑〉

せりざわ裕次郎 委員(自民)

ふるさと納税(流出額・流入額の推移等)、シティプロモーション(新たなキャッチコピー・ロゴマーク等)について

せ お 麻 里 委員(自民)

区政(今後の事業展開等)、再犯防止推進計画、区立児童相談所、公有地(有効活用等)、Park-PFIについて

つ る 伸一郎 委員(公明)

しあわせ創設プラン、孤独・孤立対策(孤独・孤立対策の強化等)、防災対策(備蓄物資の活用状況等)について

若 林 ひろき 委員(公明)

決算の概要、路上喫煙対策、認知症対策、介護人材の処遇改善、学校教材費、給食費、令和6年度予算等について

松永 よしひろ 委員(未来)

公契約条例(条例制定に向けた課題、進捗状況等)、防災対策、品川歴史館(大森貝塚遺跡庭園との連携等)について

吉 田 ゆみこ 委員(未来)

再開発(障がい者施設設置の要望、公共・公益施設の設置にあたる地域特性、事後評価の実施・公表等)について

のだて 稔 史 委員(共産)

羽田新ルート(区民アンケート等)、庁舎跡地(対話型市場調査、福祉施設の整備、区民ニーズの内容等)について

安 藤 たい作 委員(共産)

再開発(区における再開発の担当部課長の人数等)、いじめ対策(区長部局におけるいじめ相談窓口体制等)について

藤 原 正 則 委員(品改)

西大井周辺のまちづくり(ニコン本社等)、人事、選挙制度、介護、副区長(就任した理由等)、事務事業評価について

松本 ときひろ 委員(維新)

いじめ対策(学校から区教育委員会へのいじめの報告に開する手段、重大事態の認定権限の所在等)について

お金の使いみちを審査しました 令和4年度決算審査のあらましをお知らせします

9月22日の本会議において、決算特別委員会を設置し、令和4年度決算の審査を付託しました。

審議の結果、令和4年度各会計の決算はすべて認定すべきものと決定し、10月24日の本会議で認定しました。

決算の概要は下記をご覧ください。

決算特別委員会の構成は、以下のとおりです。



■ 委員長：塚本よしひろ ■ 副委員長：せお麻里、松永よしひろ

■ 理事：鈴木ひろ子、筒井ようすけ、せらく真央 ■ 委員：議長および議員選出監査委員を除く全議員

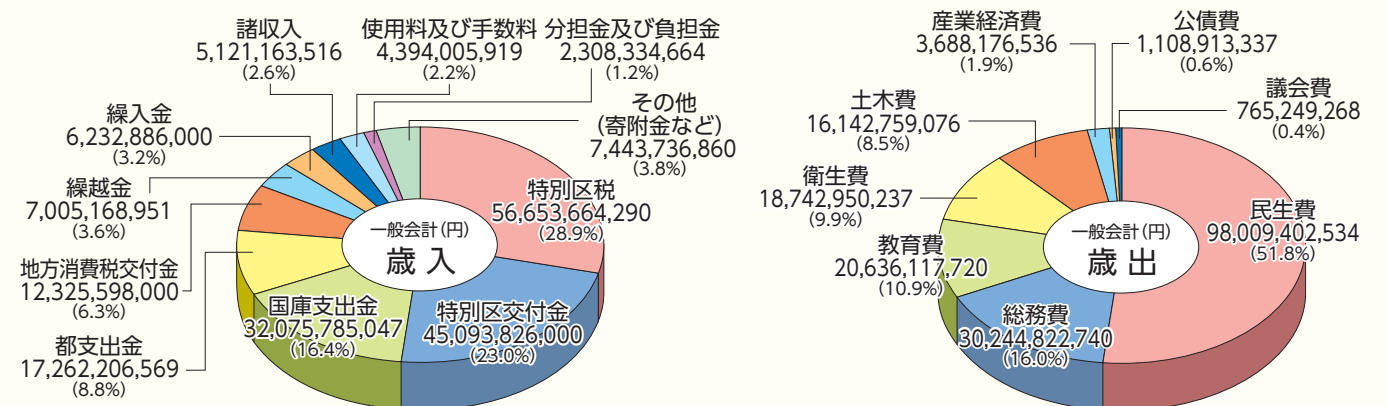
* 令和4年度決算に対する総括質疑は15ページに、各会派の意見表明は16～17ページに掲載しています。

令和4年度決算の概要

会 計	歳入決算額	歳出決算額	翌年度へ繰越
一 般 会 計	1,959億1,637万5,816円	1,893億3,839万1,448円	65億7,798万4,368円
国民健康保険事業会計	364億414万179円	359億5,059万751円	4億5,354万9,428円
後期高齢者医療特別会計	97億6,462万6,431円	96億9,877万9,998円	6,584万6,433円
介護保険特別会計	271億5,813万5,538円	259億4,120万7,919円	12億1,692万7,619円
災害復旧特別会計※	0円	0円	0円

※令和4年度は、事業の執行がなかったため、歳入決算額および歳出決算額はありませんでした。

令和4年度一般会計決算の内訳



決算とは

決算とは、1年間の収入および支出の見積(予算)に対して、実際の収入および支出の結果を明らかにしたものです。

区議会が行う決算審査は、区の予算が適法に目的どおり使われたか審査し、翌年度の予算編成や将来の財政計画に反映するという重要な役割を担っています。

各会計に対する各会派の賛否

会 計	結 果	自 民	公 明	未 来	共 産	品 改	維 新
一般会計	認定	賛成	賛成	賛成	反対	賛成	賛成
国民健康保険事業会計	認定	賛成	賛成	賛成	反対	賛成	賛成
後期高齢者医療特別会計	認定	賛成	賛成	賛成	反対	賛成	賛成
介護保険特別会計	認定	賛成	賛成	賛成	反対	賛成	賛成
災害復旧特別会計	認定	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成

日本共産党品川区議団

実質賃金が下がる中、消費税増税・コロナ禍の上に異常な物価高騰が区民生活を直撃。基金に49億円も積み増すのでなく区民の暮らし支援に活用すべき。以下要望する▼中小企業支援は省エネ設備更新助成金の継続・固定費補助を。インボイス廃止を求めよ▼国保料の引き下げ・子どもは無料に。後期高齢者医療の窓口2割負担を元に戻すよう求めよ▼介護保険第9期は地域に包括支援センター設置と介護基金を活用し保険料引き下げを▼グループホーム増設等障害者福祉の充実▼インフルエンザワクチンの高齢者接種費用無料化▼巨額の税金投入の超高層再開発は中止し、追い出された人の割合の公表を▼庁舎跡はPFI導入・アリーナ建設に反対。新庁舎に特養や障害者施設の併設を▼羽田新ルートは区民を欺く固定化回避ではなく中止を求めよ▼リニア新幹線は再びマシンの故障でストップ。区民への説明会と中止の決断を求めよ▼気候危機対策として住宅断熱化と太陽光発電設置助成の拡充▼防災対策は予防対策を柱に耐震・不燃化や感震ブレイカー設置助成の全域拡大、家員転倒防止器具の助成拡充▼いじめ重大事態の調査報告書の指摘を教訓に、全校での議論と体制整備を。教員の長時間労働の改善。包括的教育の実施。

品川改革連合

令和4年度一般会計、国民健康保険事業会計と、後期高齢者医療・介護保険・災害復旧の特別会計の各決算を認定します。暮らしや商売に活気が戻り、所得や収入が増えて来たものの、税金や社保料の負担増、競争や異常な円安で光熱費や物価が高騰し、多くの国民は賃上げも出来ず、家計と企業経営は悪化しています。買い控えや節約で消費が減少、中小企業は値上げ出来ず人手不足と資金難で融資返済もできず廃業や倒産が増えているので、区は支援に一層取り組んで頂きたい。介護士・保育士・幼稚園先生の賃上げと労働環境を改善すると共に、子どもや被介護者を、予約なしで何時でも預けられる施設の開設に取組んで頂きたい。また羽田新飛行ルートの変更を国に働き続けて頂きたい。高額所得者には社保料の負担増をお願いし行き詰まる福祉を支えて頂きたい。さらに都が採用する若手教員や職員を、区が独自に採用し、品川区に定着するように、生活費の負担減を図るため借上げ住宅や災害待機寮を提供するべきです。いじめ問題に対しては区の信頼と教員・職員のプライドを守って頂きたい。ウクライナ侵攻や中東紛争など、多くの死傷者や、エネルギーと食糧危機をもたらす戦いを人類は止めるべきです。

品川区議会日本維新の会

本年度の形式収支は約65億円の黒字となりました。区民税収は前年度の4.9%増、経常収支比率は前年度と同率、23区平均と比較すると1.9ポイント下回っている状況であり、健全財政は維持されている事を確認し、令和4年度各歳入歳出決算を認定いたします。不妊治療助成の拡充、男女共同参画社会の推進、幼児期の生命の安全教育、通学路の安全確保、教育現場の見守り体制などの提案から区民サービスの充実を、そして財政の硬直化を防ぐためには行財政改革に取り組み、長寿祝い事業、防災ラジオ経費、広告料収入など指摘した各事業見直しの検討をお願い致します。いじめ事案については未然防止や早期発見はもちろん、起きてしまった事案に対しては、学校は毅然とした対応をとるべきです。教育委員会は重大事態の認定方法について早期に方針を決定するとともに、区長部局においてはいじめ相談体制の整備に留まらず、いじめ解決に向けた積極的な取り組み体制の構築を要望いたします。本委員会において指摘、提案した点について検討され、次年度の予算や今後の政策、施策、事業に反映していただくよう要望し、品川区議会日本維新の会の意見表明といたします。

令和4年度決算に対する各会派の意見表明

※各会派から提出されたものを原文のとおり掲載しています。

品川区議会自民党・無所属の会

品川議会自民党・無所属の会は、令和4年度品川区一般会計、国民健康保険事業会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、災害復旧特別会計、全ての歳入歳出決算を認定いたします。令和4年度の一般会計は、当初予算一千890億七千200万円に対し、歳入総額約一千959億一千637万円、歳出総額約一千893億三千839万円、形式収支（歳入歳出差引額）は約65億円の黒字となり、翌年度へ繰り越すべき財源約3億円を差し引いた実質収支も約62億円と、健全財政を維持していることを評価いたします。また、今決算特別委員会において、我が会派の委員より、区民の皆様や各種団体などから頂きました声をまとめた上、令和5年度の品川区予算事務事業に反映され実現されることを期待し、意見、要望、政策提言をいたしました。委員会質疑では熱意あるやり取りがあり、我々、品川区議会自民党・無所属の会としても新体制となり、本気で挑ませて頂きました。物価上昇への対応と地域経済の回復と支援を含め、より一層の区民生活の向上、区民の幸せを意識した行政と議会の連携に向けてお約束いたします。以上、品川区議会自民党・無所属の会の意見表明といたします。

品川区議会公明党

歳入・歳出の状況および執行率などから、適法適正なものと判断します。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症に加え、物価高騰による影響が顕著となったことから、5回の補正予算を組み、子育てや低所得世帯への特別給付、福祉施設への経済的支援、プレミアム付商品券・キャッシュレスポイント還元、中小企業融資あつ旋、出生数が過去最小の80万人を下回る見込みから出産・子育て応援ギフト事業などを実施し、区民生活や経済活動を支えました。また、当初予算では、会派の要望も含め、コロナ対策、エコルとこし開設、認知症施策拡充、コミュニケーションバス試行運行の開始、発達障害教育支援員の配置、また、3歳児視力検査フォトスクリナー、子宮頸がんHPVワクチンの個別勧奨再開に伴うキャッシュアップ事業、ネウボラネットワーク拡充、デジタル波対応防災ラジオ販売、手話の理解促進などの障がい児者支援、住宅確保要配慮者入居促進事業などの施策が、着実に実行されました。今後は、コロナ対策の検証や医療機関との関係深化を図り、感染症への備えを行うこと、また、本決算特別委員会を通じて、会派からの意見・要望を真摯に受け止め、今後の区政運営および来年度予算に反映されるよう求めます。

しながわ未来（無所属・立憲・ネット）

令和4年度一般会計歳入総額約一千959億、執行率が93.1%となり、普通会計の実質収支も約62億円を超える黒字で、健全財政を維持していることを確認しました。令和4年度も新型コロナウイルス感染症の蔓延による感染者数の急激な増加やロシアによるウクライナ侵攻に伴いエネルギー価格高騰や円安等による物価高騰等、区民生活と区内経済活動に大きく影響を与えました。その中で品川区は、保健所機能の強化、新型コロナウイルス感染症拡大防止、商店街支援強化や中小企業への融資あつせんの拡大、高齢者、障がい者への支援拡大など適確に実施してきました。今後もAIやIoTなどの最先端技術の活用や利便性向上に繋がるデジタル化の更なる推進、子育て支援の充実、学校教育の充実、福祉の充実、地域経済活性化施策の推進、防災対策強化、環境対策の推進、庁舎建て替え、羽田新飛行ルート問題、多様性の推進など、本決算特別委員会では我が会派の指摘・提案も今後の施策に反映し、各課題への積極的な取組を求めます。現代社会においては変化が速く、迅速な対策が必要です。こうした視点を持って取り組んでいくことを求め、意見表明といたします。

議員研修会を開催しました

令和 5年 8月23日、第28回品川区議会議員研修会を2部制で開催しました。
概要は以下のとおりです。

「ヤングケアラーを知る」(第1部:午前10時～)
令和 5年 4月より品川区ヤングケアラーコーディネーターに就任され、幅広く活躍されている NPO 法人ヤングケアラー協会の代表理事 宮崎成悟氏と、同事務局長 小林鮎奈氏を講師にお招きし、ヤングケアラーについてご講義いただきました。



「道路交通法改正について」(第2部:午後4時～)
株式会社 L u p の広報渉外部長 池上翔氏と、同広報渉外部 國井さくら氏を講師にお招きし、道路交通法の改正についてご講義いただき、その後、電動キックボード乗車体験会を実施しました。



特別委員会の活動 8月～10月

8月から10月末までの委員会の
主な活動は次のとおりです。

行財政改革特別委員会

- 8月22日 「新庁舎等に関すること」をテーマに調査・研究
- 9月27日 陳情審査(1件)
「新庁舎等に関すること」、「行政のデジタル化に関すること」をテーマに調査・研究



災害・環境対策特別委員会

- 8月23日 「環境に関すること」をテーマに調査・研究
報告1件(令和5年度 地区総合防災訓練の実施)について質疑
- 9月28日 「防災に関すること」をテーマに調査・研究



厚生委員会

- 8月21日 報告5件(令和5年度高齢者福祉行事など)について質疑
- 9月25日 議案審査(4件)
請願・陳情審査(3件)
- 9月26日 報告5件(0歳児見守り・子育てサポート事業「見守りおむつ定期便」の実施など)について質疑
- 10月31日 坂井市の「重層的支援体制整備」や、八尾市の「自殺防止対策」、岡山市の「認知症対策」など先進的な取組について調査・研究



建設委員会

- 8月21日 報告6件(令和5年9月区民住宅(空き室)入居予定者登録募集など)について質疑
- 9月25日 議案審査(1件)、陳情審査(4件)
報告4件(第34回東京都道路整備事業推進大会など)について質疑
- 9月26日 報告5件(旗の台四丁目8番・12番街区における防災まちづくりなど)について質疑
- 10月25日 高松市の「高松市住生活基本計画」や、岡山市の「旭川かわまちづくり計画」、福山市の「Park-PFI事業(福山市中央公園)」など先進的な取組について調査・研究



文教委員会

- 8月21日 報告5件(令和6年度品川区立学校使用教科用図書の採択など)について質疑
- 9月25日 議案審査(3件)、報告2件(令和4年度保護者アンケートおよび児童・生徒アンケートの結果など)について質疑
- 9月26日 報告5件(第1回および第2回品川区学事制度審議会の実施報告など)について質疑
- 10月30日 明石市の「こどもを核としたまちづくり」や、尼崎市の「中高生の交流」、大阪府の「大阪府立図書館の運営コンセプト」、寝屋川市の「いじめ対策」など先進的な取組について調査・研究



常任委員会の活動 8月～10月

8月から10月末までの委員会の
主な活動は次のとおりです。

総務委員会

- 8月21日 報告4件(令和5年度都区財政調整交付金当初算定結果など)について質疑
- 9月25日 議案審査(3件)、請願・陳情審査(4件)
報告5件(行政評価シートの決算特別委員会への提出など)について質疑
- 9月26日 議案審査(1件)
報告5件(品川区いじめ問題調査委員会による調査結果など)について質疑
- 10月25日 四日市市の「シティプロモーション」や、岐阜市の「新庁舎」、加西市の「ふるさと納税の取組」など先進的な取組について調査・研究



区民委員会

- 8月21日 報告5件(大井第三地域センター・区民集会所の移転など)について質疑、「都市型観光について」をテーマに調査・研究
- 9月25日 議案審査(1件)、陳情審査(2件)、報告5件(エシカルイベント in しながわなど)について質疑
- 9月26日 報告1件(令和4年度指定管理者による管理に対するモニタリング・評価の結果)について質疑
- 10月30日 山口市の「地域づくり交付金」や、福岡市の「水辺のにぎわい創出」、長崎市の「観光施策、おくやみ窓口等の窓口改革」など先進的な取組について調査・研究



2023区民と議会の 交流会

(議会報告会)

どなたでも
参加できます
参加無料

～皆さまのご意見をお聞かせください～

ふるさと納税と 区の魅力発信!!

日 時 12月6日(水)
19:00～20:30

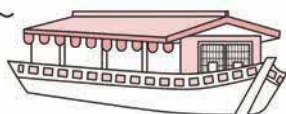
要申込

会 場 屋形船
(船清: 北品川 1-16-8)

申込開始 11月21日(火)～

申込人数 先着20名

主 催 総務委員会



※出航はしません。また、飲食の提供もありません。

魅力再発見! 品川区の観光資源を考える

日 時 12月9日(土)
10:00～11:30

要申込

会 場 品川産業支援交流施設 SHIP
(北品川 5-5-15 大崎ブライトコア 4階)

申込開始 11月21日(火)～

申込人数 先着20名

主 催 区民委員会



知っておきたい 認知症対策!!

日 時 12月10日(日)
14:00～15:30

直接会場へ

会 場 本会議場
(区役所議会棟 5階)

主 催 厚生委員会



※区役所議会棟 3 階の入口からお入りください。

しながわ水族館の リニューアルに向けて

日 時 12月9日(土)
13:30～15:00

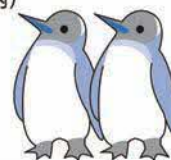
要申込

会 場 しながわ水族館 見晴らしルーム
(勝島 3-2-1 しながわ区民公園内)

申込開始 11月21日(火)～

申込人数 先着20名

主 催 建設委員会



安心できる 子どもたちの放課後を

日 時 12月16日(土)
13:00～14:30

直接会場へ

会 場 区議会第一委員会室
(区役所議会棟 6階)

主 催 文教委員会



※区役所議会棟 2 階の入口からお入りください。

申込方法など詳しくはホームページをご覧ください。

申込み・問い合わせ

品川区議会事務局

広町 2-1-36

電話 03-5742-6808

FAX 03-5742-6895

メール: kugikai@city.shinagawa.tokyo.jp

当日の問い合わせ先: 090-3137-8703

○手話通訳・託児(1歳～就学前)は各開催日4日前までにお申し込みください。

詳しくは
こちら



区議会
ホームページ